

目次

まえがき	1	【俳句】	小学生1年生	2年生	小学生3年生	4年生	6年生	中学生	77	
【川柳】	小学生1年生	2年生	小学生3年生	4年生	6年生	中学生	37	34	31	26
【短歌】	小学生1年生	2年生	小学生3年生	4年生	6年生	中学生	48	43	42	41
【詩】	小学生1年生	2年生	小学生3年生	4年生	6年生	中学生	52	59	67	77

○応募者数・応募作品数

	小学1・2年生		小学3・4年生		小学5・6年生		中学生		合計	
	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数	人数	作品数
俳句	688人	1,144点	809人	1,477点	787人	1,388点	857人	1,473点	3,141人	5,482点
川柳	446人	803点	205人	391点	270人	481点	378人	593点	1,299人	2,268点
短歌	9人	15点	43人	68点	457人	695点	237人	375点	746人	1,153点
詩	104人	120点	119人	145点	166人	173点	20人	24点	409人	462点
合計	1,247人	2,082点	1,176人	2,081点	1,680人	2,737点	1,492人	2,465点	5,595人	9,365点

○入賞点数

	小学1・2年生		小学3・4年生		小学5・6年生		中学生		合計	
	特選	3点	特選	3点	特選	3点	特選	2点	特選	11点
俳句	準特選	7点	準特選	9点	準特選	9点	準特選	9点	準特選	34点
	佳作	15点	佳作	20点	佳作	20点	佳作	20点	佳作	75点
	入選	25点	入選	30点	入選	30点	入選	30点	入選	115点
	計	50点	計	62点	計	62点	計	61点	計	235点
	川柳	特選	2点	特選	1点	特選	1点	特選	2点	特選
川柳	準特選	5点	準特選	2点	準特選	3点	準特選	3点	準特選	13点
	佳作	11点	佳作	5点	佳作	7点	佳作	8点	佳作	31点
	入選	25点	入選	12点	入選	15点	入選	18点	入選	70点
	計	43点	計	20点	計	26点	計	31点	計	120点
短歌	特選	1点	特選	1点	特選	2点	特選	1点	特選	5点
	準特選	1点	準特選	1点	準特選	6点	準特選	3点	準特選	11点
	佳作	1点	佳作	2点	佳作	9点	佳作	5点	佳作	17点
	入選	1点	入選	3点	入選	22点	入選	12点	入選	38点
	計	4点	計	7点	計	39点	計	21点	計	71点
詩	特選	2点	特選	2点	特選	2点	特選	1点	特選	7点
	準特選	4点	準特選	5点	準特選	5点	準特選	1点	準特選	15点
	佳作	6点	佳作	7点	佳作	8点	佳作	1点	佳作	22点
	入選	10点	入選	12点	入選	15点	入選	2点	入選	39点
	計	22点	計	26点	計	30点	計	5点	計	83点
合計	特選	8点	特選	7点	特選	8点	特選	6点	特選	29点
	準特選	17点	準特選	17点	準特選	23点	準特選	16点	準特選	73点
	佳作	33点	佳作	34点	佳作	44点	佳作	34点	佳作	145点
	入選	61点	入選	57点	入選	82点	入選	62点	入選	262点
	計	119点	計	115点	計	157点	計	118点	計	509点

まえがき

彦根市教育委員会 教育長 善住 喜太郎

彦根市および彦根市教育委員会では、子どもたちが文化芸術活動を通して自己表現できる機会を提供するとともに、日ごろから文化芸術活動に熱心に取り組む子どもたちの努力と榮譽を称えることにより、将来の文化芸術活動を担う次世代の人材を育成することを目的に、『ひこね子ども文化芸術奨励事業』を平成二十二年度から実施しております。

この事業の一つとして、子どもたちに、日本語の持つ本来の美しさを感じることを通じて、豊かな表現力（考える力・書く力・伝える力）を育むため、「第六回 ひこね子ども文芸作品」として、俳句、川柳、短歌、詩の募集を行いました。

今年度は、これまでで最も多い、延べ五千五百九十五人の子どもたちから、九千三百六十五点もの作品が寄せられました。子どもたちに文芸の創作活動が定着していることを大変うれしく思っています。

文芸作品は、「自分の思いや感情がことばで表現された作品」です。皆さんの作品を拝見させていただくと、どれも個性豊かなものの方や感じ方で、子どもらしい素直な心が表現されていると感じました。皆さんには、この文芸作品を通じて養われた表現力を、今後さらに高めていただきたいと思えます。自分の考えや思いを相手に伝えることは簡単そうで意外と難しく、時には勇気がいるものですが、大人になり、社会に出ていくうえで必要とされてきます。これから心身ともに大きく成長していく皆さんには、引き続き、日常の中にある多くの事柄を感じ、考え、そして、それらを自分自身の言葉で表現することを大切にす姿勢を持ち続けてもらいたいと考えます。

また、この入選集を手にとられた皆さんには、ぜひ他の学年や、他の学校の児童・生徒の作品も読んでいただきたいと思えます。作品には、普段何気なく見ている身の回りの自然や風景、そして、自分と身近な家族や友だちのことを題材としている作品が多く、人それぞれで感じ方や考え方が異なります。他の作品を見ることが、これまでとは違ったものの見方や感じ方、今まで意識しなかった事柄に気づききっかけとなり、新たな発見や再認識につながります。そしてそれは、他人の考えや思いを理解し、尊重し合う心を育んでくれるものとなるはずで

最後にりましたが、彦根文芸協会の皆様には作品の審査をはじめ、夏休みには「夏休み文芸ワークショップ」の講師をお引き受けいただくなど、彦根市における新たな文芸活動の人材育成のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

これからも、明日の彦根を担う子どもたちの健やかな成長を、温かな目で見守っていただきますよう、関係各位の皆様にお願ひ申し上げます。発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

平成二十八年 三月